

# 實相寺 花園會報

お寺の掲示板

令和六年  
十二月一日発行  
発行所  
臨濟宗妙心寺派  
陽明山 實相寺  
實相寺花園會  
〒761-0450  
高松市三谷町  
1811番地1  
TEL.087-889-3838  
編集発行人  
山本文匡  
<https://www.jissouji.net>

第188号

風にかいふくとも  
歳ゆるがぶる  
ごとも智者は  
ほまれにも  
またせしりにも  
こころうごかじ  
法句經ハ一

「正岡子規居士の随筆集『病牀六尺』を読むと、  
こういうことが書いてある。『自分は今まで禅とい  
うのは何時でも笑って死ぬることだと思っておっ  
た。しかしそれは間違いであった。禅とはどんな  
苦しい場合にも生き抜くことであるとわかった』。  
この言葉は、居士の必死の体験からにじみでた  
尊い結論だと、心から頭をさげる。そしてその大  
盤石のような不屈の精神力に敬意を表する。」

『法句經 真理のことば』 山田無文老師 春秋社

## 達磨忌・秋期檀信徒総供養

去る11月23日（勤労感謝の日）  
午前10時より達磨忌、及び檀信徒  
総供養を開催しました。ここ数年  
は10月初旬に開催していましたが、  
今年から以前の様に、勤労感謝の  
日に開催致します。



## 花園会役員を大募集します！

当日は秋晴れの好天に恵まれ、  
4名の法類寺院様に御出頭頂き、  
32名の会員様がお参り下さいまし  
た。準備や片付けのお手伝い頂い  
た役員様方、有難うございました。  
現役員の皆様は令和6年度末で  
任期満了と成ります。数名の方が  
退任予定ですので、今後、施餓鬼  
や達磨忌の準備等をお手伝い頂け  
る方を募集します。「やってもいい  
よ」という方、是非ご一報下さい。  
何卒宜しくお願い致します。

「これからの仏教の役割」  
 9月下旬、25年後の2050年には「身寄りのない高齢者（配偶者と3親等以内の親族がいない）」が448万人、高齢者の9人に1人になるとの日本総合研究所の予測が報道されました。

しかし、調べてみると現在でも「子のいない高齢者」は459万人、うち「子も配偶者もない高齢者」が371万人もいらっしゃいます。現時点での高齢者数が3625万人ですので、それぞれ12・7%、10・2%もいらっしやいました。実際には甥や姪が居たとしても、疎遠で経済的な援助は望めないケースも少なくないでしょう。

加えて「就職氷河期世代」と言われる、平成5年から平成16年の間に高校や大学を卒業した人達、生まれ年で言うところ昭和45年（平成5年に大学を卒業）から昭和61年（平成17年に高校を卒業）生まれの人は、約2000万人（人口の約6分の1）いらっしゃいますが、この人達は非正規雇用者が多く、未婚率も高い傾向にあります。そのため子供がいても、頼れない高齢者も増えていると推測します。こうした高齢者の孤立は今後大きな社会課題ですが、その遠因には、戦後の高度成長期に故郷を離れ、核家族化した人々が多かったこともあると思います。

かつての葬儀・法事は死者の供養だけでなく、家業を中心とした親族や地域共同体の中で、後継者を内外に示す社会的意義もありました。しかし地縁・血縁が薄れ、格差が拡大する現在の日本社会では、先祖供養が廃れていくのも無理のないことでしょう。

一方、日本社会の課題の一つに増大する社会保障費があります。その約3割を占める医療費は令和3年度の厚労省推計で生涯に一人当たり2800万円使うのですが、その内の約50%は70歳以上で使っています。勿論、終末期の医療費を減らしても1割程度しか削減出来ないという研究もありますし、

ただ単に高齢者医療を減らせという話ではありませんが、いたずらに延命治療を施しても、それだけで高齢者のQOL（人生の質）が上がると思えません。やはり大切なのは「老い」や「死」をどう捉えるかという価値観でしょう。そんな時、ずっと「生老病死」に向き合ってきた仏教には、高齢者がよく生きる為のヒントがあると思うのです。特に欲望を追求するのではなく、欲望を調えることで苦しみから開放されようとする般若の智慧、無我の教えは、現代社会にはないものです。それをお伝えすることが、これからの仏教の役割ではないかと思うのです。